

平成20年度第3回千葉県図書館協議会議事録(要録)

- 1 日時 平成21年3月12日(木)
午後2時から午後3時40分まで
- 2 場所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 (委員) 伊藤 修一 永野 慎護
吉野 直子 川津 敏子
島 利栄子 土屋 俊
山中 齊
(生涯学習課) 三浦 章 宏副主幹
中央図書館長 松永 光男
西部図書館長 村山 勉
東部図書館長 野沢 洋子
他11名
(傍聴者) なし

4 議題

- (1)平成20年度県立図書館事業(経過報告)について
(2)平成21年度県立図書館運営方針(案)について
(3)その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

次に、議長からあいさつをいただいた後、議事が進められた。

<会議録>

議長 それでは、議事(1)平成20年度県立図書館事業(経過報告)について、事務局から報告をお願いします。

事務局 平成20年度県立図書館事業(経過報告)(資料1)に基づき経過報告。

議長 ありがとうございます。資料に基づいた説明でしたが、委員の皆様質問等ございますか。

蔵書数が3館で129万冊を超え、内中央で84万冊を超えていますが、どちらかに預けておられますか。

事務局 はい、西部と東部に11万冊余り預けております。

議長 改善の見込みがありますか。

事務局 書庫の狭隘化対策として検討しております。現状では、中央図書館は今後2年で書庫が満杯状況にあります。そこで、西部図書館、東部図書館に協力を得て、協力車で運ぶ等の手立てにより、満杯状態になることをもう少し延ばせるのではと考えております。3万5千冊程度、2館へ預ければ、満杯状態は5年程度に延ばせるのではないかと、そして、この間にきちんとした対応方針を考えることとしております。

議長 では、他に質問等なければ、了承でよろしいですか。

委員 はい。

議長 (2)平成21年度千葉県立図書館運営方針(案)について、説明をお願いします。

事務局 平成21年度千葉県立図書館運営方針(案)(資料2)に基づき説明。

議長 ありがとうございます。資料に基づいた説明でしたが、委員の皆様御意見等ございますか。

委員 21年度千葉県立図書館運営方針ですが、素晴らしいものなので中・長期的な方針として考え、期間はあえて単年度に指定しなくても良いと思います。

議長 有難い御意見です。一般県民の視点から見ると良いものを1年に限定しなくても良いのではないかとこのことですので、協議会の意見を踏まえて御検討ください。

事務局 わかりました。

委員 連携対象として、公共図書館や学校図書館が挙げられておりますが、千葉県には大学もあり、大学の図書館は蔵書数等も多いと思いますので、是非、大学図書館とも連携を図っていただきたい。

議長 大学図書館と連携することに問題はないでしょうか。

事務局 問題ありません。

委員 西部図書館、東部図書館は協力車が高等学校に巡回してますが、中央図書館で高等学校に行っていないのは、理由があるのですか。

議長 説明をお願いします。

事務局 中央図書館のエリアは、広範囲であり、高等学校も多く、予算的にも巡回することが難しい現状です。

議長 東部図書館は、エリア内の高等学校を全部網羅している訳ではないですね。

事務局 全部の高等学校ではないです。希望のあった高校なども含まれ、半数くらいです。

委員 では、中央図書館においても広範囲で多いから難しいということではなく、希望校を回るとかできないでしょうか。

委員 希望するところが、お金を負担するようにすると良いのでは、予算で行っていると不平等感が出てきてしまう。資料購入するより安価な負担で巡回してくれれば、

希望するでしょう、また、県立図書館の予算が減になったならば、他の部署の負担で行うことも一案である。

委員 受益者負担ですか。

委員 みんなで負担です。

議長 中央図書館が高等学校へ巡回していないのは、歴史的なことにも関わってくると思います。中央が1館の時は公立図書館との結びつきで長く運営していました。後に西部と東部が開館する時には、地域密着で学校にも巡回しますということがあったのではと思います。

委員 そのような経過を知らない県民は何故だろうと思います。

議長 来年予算要求の時にこういう意見が寄せられていることをお話してください。

事務局 今年度も検討はしているのですが、厳しい財政状況の中では実現は厳しい状況です。

議長 中央図書館で高等学校へ協力車が巡回し、本の提供ができるようにしてもらいたいと協議会で意見が寄せられたことをお知らせください。

委員 本の購入費ですが、7%減ということで今後より一層緊密に連絡調整を行い、蔵書構築に支障が生じないようにすると説明がありました。そして、中央図書館は、「児童書を減らさないように」と一つの方針が示されましたが、この特徴をもっと県民に知ってもらおうと良いです。

事務局 事業計画(案)1 資料の収集・整理・保管の部分で収集整備の方向性を記載させていただきました。

議長 7%減で図書の充実を図るのは大変ではないかということでしょう。

委員 これは、「児童サービスのセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図る。」ということで積極的に何を集める。他の図書を購入しないという表現ではないので妥当だと思います。

ただ、分析がありましたら教えていただきたいのですが、所蔵図書の重複具合で3館の重複するタイトルが何点で、2館で重複するタイトルが何点なのか、いわゆる純粋な重複しないタイトル数がいくつなのか。予算が減額されていかれる場合など、こういったことも重要で分析されるべきと考えます。場合によっては、「購入冊数が減ってもタイトル数が増えています。」と言えることもあります。

事務局 研究していきたいと考えております。購入する段階で3館で検討しておりますが、参考図書などは各々の館が必要となっております。小説等については、1冊あるいは必要に応じてしております。ただ、現在データとして持っておりませんので、今後把握し分析してまいります。

議長 今回は7%ですが、今後もっと予算の減額も予想されますので、分析された上で

購入計画されるとよろしいと思います。

委員 ボランティアの育成目標を300人とされていますが、講師派遣をするだけでなく、ボランティアのスキルアップ、有効活用を是非お願いしたいです。

事務局 サービス評価指標にも記してありますが、ボランティアの方の働く場の情報提供、スキルアップが必要と考えています。先進的なところを調査し、取り入れていきたいと考えます。

委員 わかりました。お願いします。

委員 研修についてですが、研修に参加させたいが、職員が少なく参加させられない等研修に参加する側にもいろいろな状況が予想されますので、受ける側の状況を認識されて、誰を対象として研修会を開くのか考えて、活きた研修をしてもらいたいです。

議長 支障を感じるなどありますか。

事務局 例えば、経験3年以上の方を対象とした研修会を開催した場合、市町村立図書館では自分が研修に参加すると自館に人が居なくなってしまう実態があります。これをフォローするのにどうするか。千葉県公共図書館協会で、採用から退職までに各々の地区でどのような研修が求められ、どんな方法の研修が必要か意向を確認したいと思います。それを踏まえて、県立で来年度は何を研修としていくか、ニーズにあった研修ができると良いのではないかと考えています。また、参加できなかった方々にも同様に研修効果が得られるようにできればと考えておりますので、これも検討したいと思います。

委員 是非、ニーズを調査していただいてお願いしたいです。

委員 サービス目標の達成度は、22年度に全て100%になってしまうのですか。

事務局 いいえ、全てが100%になるように考えていません。こういうような運営をしていきたいということで設定しております。

議長 では、21年度千葉県立図書館運営方針については、意見を踏まえて、定めていただくことで了承でよろしいですか。

委員 はい。

議長 (3)その他は、ございますか。

事務局 ありません。

議長 それでは、これで終わりにさせていただきます。

事務局より、今後の予定として、今回の御意見を踏まえて基本方針を定めること。次回の図書館協議会は「平成20年度の事業報告について」を議題とし、6月頃に中央図書館で開催する予定で進めることをお知らせして閉会した。